

平成 17 年 4 月 11 日



# news release

過去最高収益の達成と貸倒関連費用の減少、ローコストオペレーションの推進により

**経常利益は前期比 53.2%の増加**

**当期純利益は同 46.3%の増加**

ポケットカード株式会社（8519）の平成 17 年 2 月期の業績は、営業収益が 335 億 34 百万円（前期比 2.1%増）、経常利益が 72 億 39 百万円（同 53.2%増）、当期純利益が 36 億 88 百万円（同 46.3%増）と増収増益となりました。

営業収益は「量から質」を重視した営業施策の実施によるカード利用の拡大や、クレジットカード決済市場の拡大並びに景気回復に伴う個人消費の改善等により、割賦購入あっせん収益が前期比で 11.6%の二桁増となり、また融資収益も市場環境の改善により堅調に推移したことから、全体では前期比 2.1%増の 335 億 34 百万円と過去最高収益となりました。一方費用面では自己破産の減少等に伴う貸倒関連費用の減少や、販売管理費全般に亘るローコストオペレーションの推進により、営業費用全体で前期比 6.7%の減少となりました。この結果、営業利益で前期比 54.3%、経常利益で同 53.2%、当期純利益は同 46.3%の増益となりました。

（百万円）

	営業収益	経常利益	当期純利益
通期業績	33,534 (+2.1%)	7,239 (+53.2%)	3,688 (+46.3%)
平成 18 年 2 月期 業績予想	35,300 (+5.3%)	8,000 (+10.5%)	4,300 (+16.6%)

（）内は前期比

## 平成 17 年 2 月期トピックス

### （1）伊藤忠グループとの共同事業展開が本格化

2004 年 7 月に大手コンビニエンスストア「ファミリーマート」のクレジットカード子会社ファミマクレジット株式会社と保証業務を本格的スタート、同年 10 月には全国に 2,200 箇所の系列 SS（サービス・ステーション）を有する石油卸大手の伊藤忠エネクス株式会社と、また同年 12 月には女性向ファッション誌連動通販サイトのマガシーク株式会社とそれぞれ提携カードを発行しており、当社と伊藤忠グループとの共同事業展開はさらにその範囲を拡大しています。伊藤忠エネクスとの提携カードは発行開始後 5 ヶ月で 5 万枚の新規獲得を達成するなど提携後の進捗も順調であり、今後も当社は伊藤忠グループとの連携を強め、安定した営業基盤の拡大と新ビジネスの創出を進めてまいります。

## **(2) 貸倒関連費用の減少**

2001年から大幅な増加傾向にあった貸倒関連費用が、今期は前期比23.5%減の68億67百万円と減少に転じました。これは当社が継続的に行っております与信の精緻化、債権管理体制の機能強化が効果を発揮したことに加え、全国個人破産申立件数が2003年11月以降前年同月比でマイナスとなっていることなど、市場全体での改善の動きを受けたものです。

## **(3) 「VISA」ブランドカードの発行が可能に、さらに「JCB」ブランドカードの発行も**

2004年8月、三井住友カード株式会社との提携により、「VISA」ブランドのクレジットカード発行が可能になりました。従来から発行している「MasterCard」ブランドに加え「VISA」ブランドカードが発行できることで、お客さまの選択の幅が広がり、利便性を高め満足度の向上に寄与します。当社は今後5年間で100万枚の「VISA」ブランドクレジットカードの発行を計画しております。

また2005年4月には、株式会社ジェーシービーと「JCB」ブランドクレジットカードの発行に関する提携に合意しており、これにより「MasterCard」「VISA」「JCB」という3大国際ブランド全てでのクレジットカード発行が可能になりました。

## **(4) 新基幹システム「JCIRIUS(ジェイシリウス)」の構築に着手**

当社は伊藤忠グループとの共同事業をはじめとする新規事業の拡大と顧客への高度で多彩なサービスを提供するため、2004年10月にクレジット基幹システムの全面刷新に着手しました。今回の刷新では約40億円を投じ、システム強化による競争優位の獲得とシステム運用集約による効率性の向上、ローコスト化を目指します。新基幹システムには、日本総合研究所のカード基幹業務統合パッケージ「JCIRIUS(ジェイシリウス)」を採用、システム構築及び運用業務も併せて委託いたします。

以 上